

こんにちは。勝浦町地域おこし協力隊の坂上です。最近朝や夕方になるとちょっと肌寒いと感じるようになってきましたね。風邪などひかれませぬようご自愛ください。今回の恐竜通信ではイベント報告や最近話題となった勝浦町産世界最古のアドクス属（絶滅したスッポンの仲間）についてご紹介いたします。

10/15（日） 講演会「面白い古生物の話」開催

恒例の講演会ですが、今年は先生方に勝浦町産世界最古のアドクス属、日本の不思議で面白い古生物についてお話し頂きました。会場からは多くの質問を頂き、大変盛り上がりました！



「化石発掘調査」開始

勝浦町では、徳島県立博物館による化石発掘調査が始まりました。今年もたくさんの成果が出ることに期待です！！



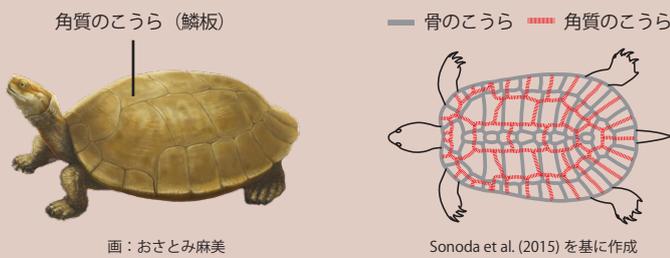
古生物豆知識



新発見 勝浦町産世界最古のアドクス

勝浦町では、世界最古（約1億3千万年前）の「アドクス属」の化石が発見されました。「アドクス属」は、現在は絶滅したスッポンの仲間ですが、今のスッポンとはあまり姿が似ていなかったようです。

豆知識1 カメのこうらは二層構造



画：おさとみ麻美

Sonoda et al. (2015) を基に作成

カメ類では骨のこうら（灰線）の上に角質のこうら（赤線）が重なり、これによって強度を高めています。化石として残るのは骨のこうらのみで、角質のこうらは跡だけが残ります。

新発見

勝浦町には世界最古のアドクス科・アドクス属がいた

▼ 勝浦町で発見された17点の化石

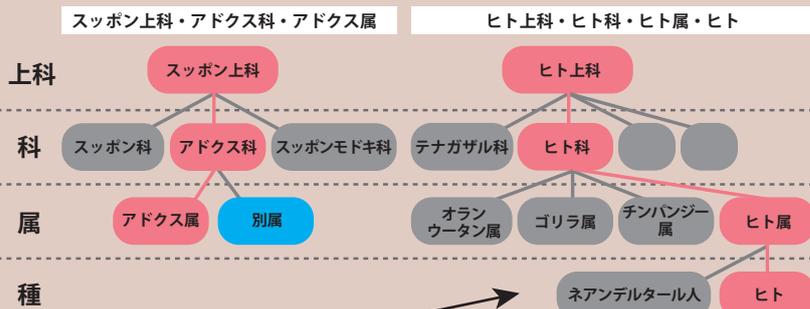
アドクス科の特徴



・こうらに丸いピット状のへこみ など…

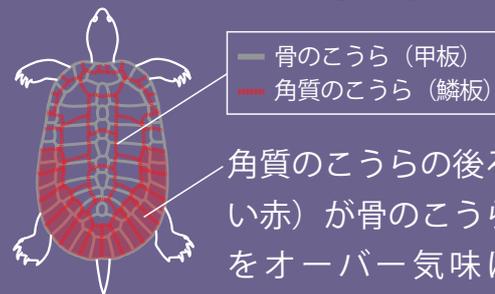
あり

豆知識2 科と属ってなに？



図のように「種」の似たもの同士をまとめたのが「属」、「属」の似たもの同士をまとめたのが「科」です。

アドクス属の特徴



角質のこうらの後ろの方（薄い赤）が骨のこうら（灰線）をオーバー気味におおう

あり

アドクス科の特徴を持ち、アドクス属の特徴を持つ⇒アドクス科のアドクス属